

脳神経外科

「ふるえ」が気になることはありませんか

あまり聞き慣れない病名ですが、「本態性振戦」という、手や頭にふるえが現れる病気があります。ふるえはいろいろな原因で起こります。気温の変化（寒さ）や精神的緊張など誰にでも起こる自然なふるえや、バセドウ病、脳卒中、アルコール依存症やパーキンソン病などでも起こります。本態性振戦はパーキンソン病と区別しなければなりません。パーキンソン病では震えは安静時に起こり、一方、本態性振戦では動作時や特定の姿勢をとったときにふるえが起こります。

「本態性」とは原因がはっきりしないという意味で、「ふるえが見られる以外問題



石田 和彦

■ 脳神経外科・整形外科
いしだクリニック

〒158-8501 東京都麻生区百合丘2-7-1
〒158-8501 東京都麻生区百合丘2-7-1
〒158-8501 東京都麻生区百合丘2-7-1

☎044-955-0250
麻生区百合丘2-7-1
<http://www.ishida-clinic.or.jp/>

となる異常はない。病気です。手のふるえを見るのに渦巻を書いて調べる方法があります。患者さんの訴えとして多いのは、手指、頭や声のふるえによる日常生活の支障や精神的な苦痛です。じっとしていると、何かしようとするときやある特定の姿勢をとったときに現れるのが特徴です。字がうまく書けない、箸を使いつらい、コップの水をこぼしてしまう、声がふるえて人前で話したくない、頭のふるえが気になって人に会うのが辛いなどです。病気はほとんど進行しません。治療には症状を和らげる薬がありますが、まずはアドバイスとして、十分な睡眠と休養、病気のことを相手に伝えること、さらに

本人が気にするほど周囲は気にしていない場合が多く、気にしすぎないことも大切です。結局、病気というよりも「体質」と考えたほうがいいかもしれません。